

長崎大学・海洋環境科学情報発信シリーズ

「東シナ海の科学」第1回東京セミナー

～水産と環境の復興に向けて～

東シナ海は、日本にとって最も重要な海洋資源供給海域の一つです。しかしその環境は近年大きく変化し、生物資源も急減しています。私たちがこの海域を、またその資源を持続的に利用するために、今こそ東シナ海の現状を見つめなおし、その将来を考えることが求められています。

一方、昨年3月に日本を襲った東日本大震災は、東シナ海と同様に我が国の重要な海洋資源供給海域である東北沿岸の環境と水産業に大きな被害を与えました。水産と環境の復興は、今や我が国沿岸全域に及ぶ重要課題として注目されています。自然災害および人間活動等による環境の変化に対応しながら、将来にわたり環境を保全し、資源の回復、生物多様性の維持を目指すためには、これまでに長崎大学が蓄積してきた海洋環境や水産研究の情報・技術を、東シナ海の保全ばかりでなく、東北沿岸の復興に役立てることが必要であると、私たちは考えます。

そこで、長崎大学では、より広い視点から我が国の海洋環境の回復・水産資源の資源維持、そして水産食料資源の安全性に着目した研究を展開し、定期的に情報発信することとしました。東京開催の第1回目セミナーでは、東北における水産の復興と環境回復にも話題を広げますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

記

日 時 2012年3月1日(木) 13:30～16:30 開場 13:00
会 場 都道府県会館 402号室(東京都千代田区平河町2-6-3)
主 催 長崎大学
協 力 日経ナショナル ジオグラフィック社
定 員 120名
受講料 無料(事前登録制)

【プログラム】

講演 1 : 「海の環境を保全することの意味～東シナ海、そして東北沿岸～」

中田 英昭（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科長）

講演 2 : 「食と環境の安全性を考える

～化学物質の海洋生物への蓄積と次世代生産に与える影響～」

征矢野 清（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

附属環東シナ海環境資源研究センター長）

講演 3 : 「バイオロギング技術を利用して復興を！ :

動物視線で東北沿海の環境をモニタリングする」

河邊 玲（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

附属環東シナ海環境資源研究センター准教授）

◆◆◆お申込はこちらから

→ <http://mg.jimu.nagasaki-u.ac.jp/smart/eq.asp?U=3006000007007047168>

◆◆◆内容に関するお問い合わせはこちら

→ 095-850-7701

◆◆◆セミナー参加についてのお問い合わせはこちら

→ 095-819-2007